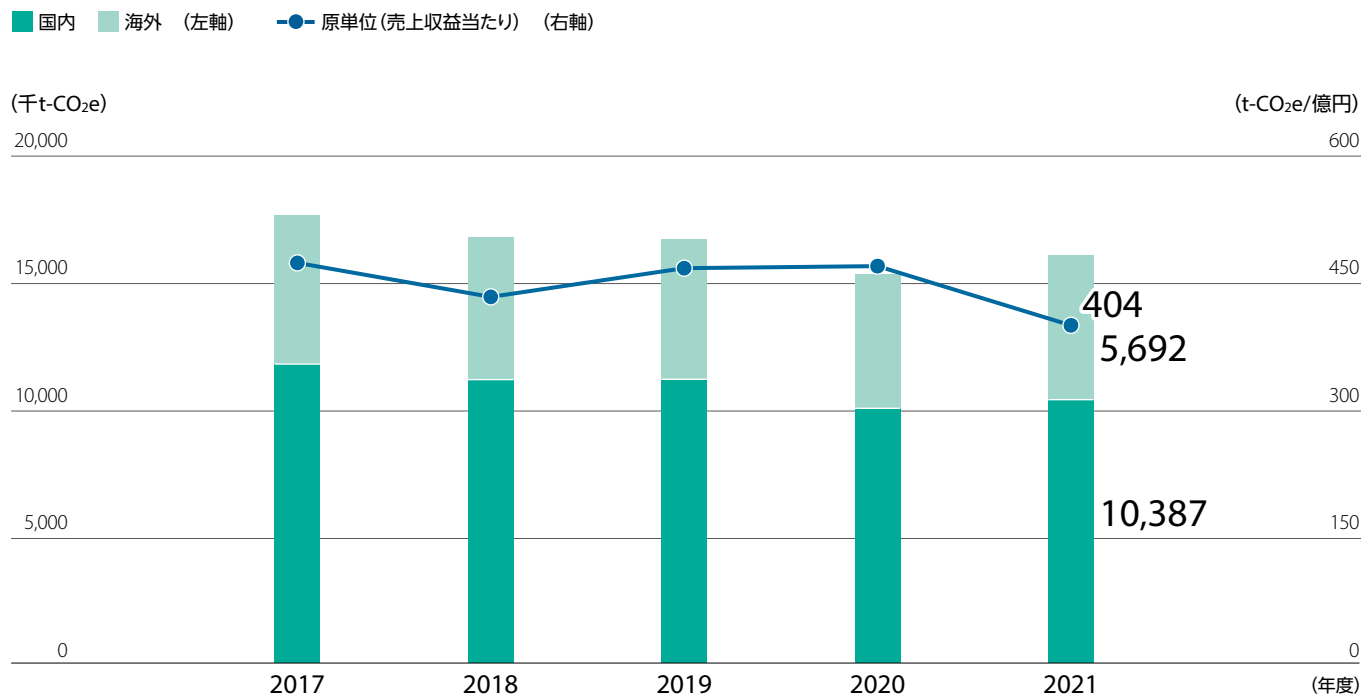


# 非財務ハイライト

## 温室効果ガス(GHG)排出量※1



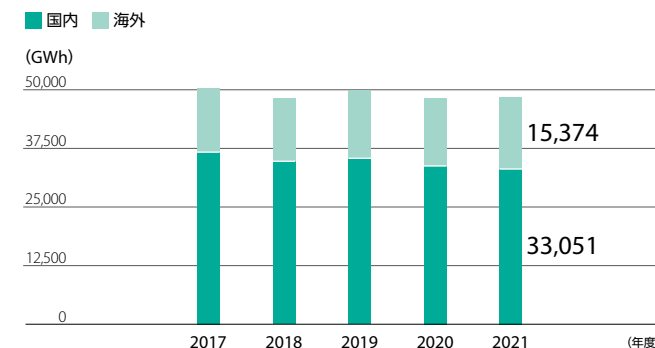
2021年度のGHG排出量(Scope1+Scope2)は16,079千t-CO<sub>2</sub>eとなりました。

総排出量については新型コロナウイルス感染症による経済の落ち込みからの回復による工場の稼働率増加などの影響により、昨年より増加しましたが、売上も増加したため原単位は下がり404t-CO<sub>2</sub>e/億円となりました。

新経営方針「Forging the future 未来を拓く」では、GHG低減を重要な社会課題の一つと位置付けており、製品・サービスを通じた排出削減貢献に加え、自社における生産などの事業活動におけるGHG排出量の低減も今後一層の加速をするべく、検討・取り組みを進めています。

※1 2019年度データ以降は中長期経営戦略K30の活動範囲に合わせ見直したバウンダリに基づき集計しています。グラフに表示している2018年度以前のデータは見直したバウンダリのもとで再集計しています。2019年度以降は見直し後のバウンダリに基づき集計した値を対象に第三者保証を受けています。

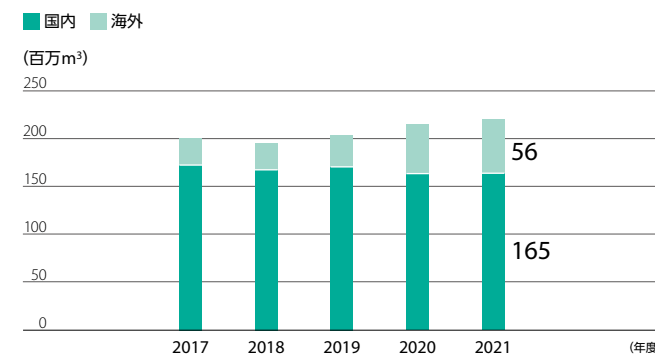
## エネルギー消費量※1



2021年度は新型コロナウイルス感染症による経済の落ち込みからの回復による工場の稼働率増加によりエネルギー使用量は増加しています。

省エネルギー活動の推進、プロセスの安定稼働などを通じた生産効率向上は、そのままGHG削減につながることから、新経営方針実現のための重要な取り組みと位置付け、引き続きエネルギー使用量の低減に取り組んでいきます。

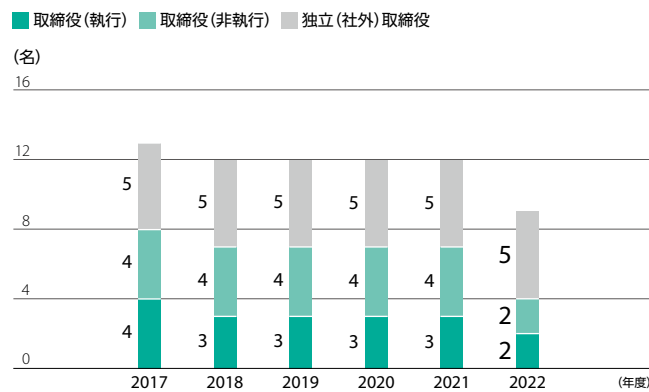
## 取水量(海水含まず)



2021年度は新型コロナウイルス感染症による経済の落ち込みからの回復による工場の稼働率増加により増加しましたが、水の効率的な利用の継続により、大きな増加とはならず昨年度とほぼ横ばいとなりました。新経営方針では、グローバルな水供給の不安定解消を重要な社会課題の一つと位置付けており、自社の水資源の活用が地域の大きな負荷とならないよう、引き続き水資源の有効利用、取水量削減の取り組みを推進していきます。

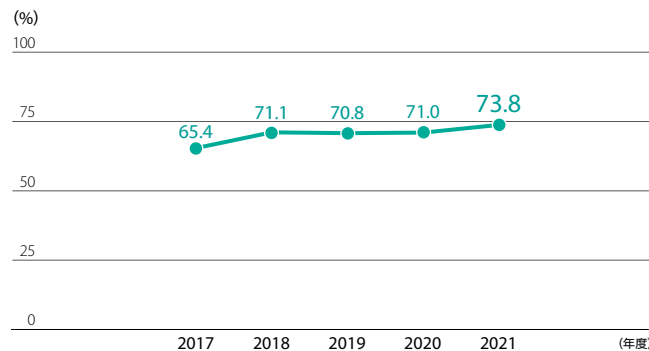
## 非財務ハイライト

### 取締役人数・社外取締役人数



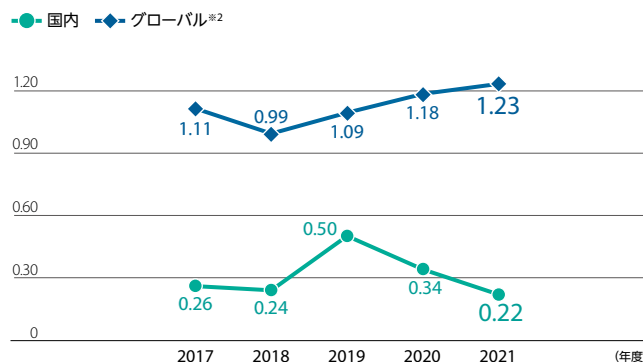
取締役一覧(▶ P.63~64)

### 有給休暇取得率※2



有給休暇取得率は、前年度並みとなりました。ニューノーマル時代の働き方を見ずえた業務改革に取り組み、引き続きワーク・ライフ・バランスの施策を強化していきます。

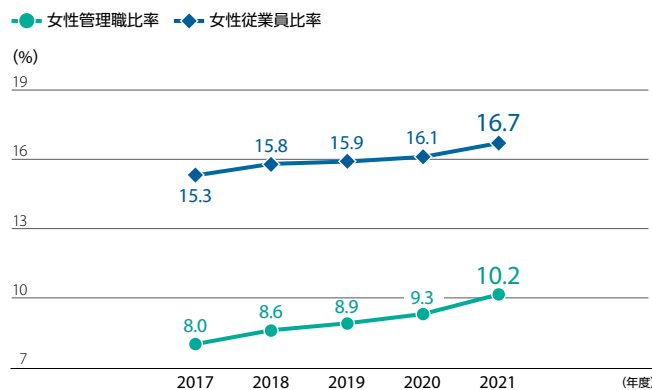
### 休業度数率



日本国内の休業度数率は0.22となり前年度より改善しました。一方、グローバルでは、日本国内に比べ、休業度数率が高い水準にあります。

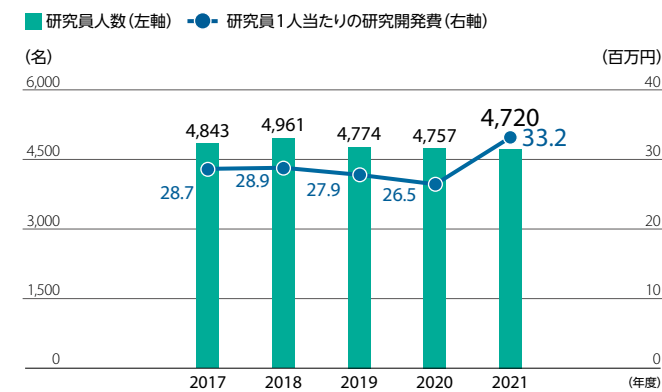
安全の基本行動や基本操作の徹底、リスクアセスメントなどの諸施策により、労働災害の防止に向けた取り組みを強化し、休業度数率の改善に努めていきます。

### 女性従業員比率・女性管理職比率※2



女性従業員比率は、前年度比0.6ポイント上昇の16.7%、女性管理職比率は前年度比0.9ポイント上昇の10.2%となりました。女性活躍推進に向け諸施策を推進しています。

### 研究員人数・研究員1人当たりの研究開発費



2021年度の研究員人数は前年度比37名減の4,720名、1人当たりの研究開発費は33.2百万円となりました。

※2 集計対象範囲(▶ P.108)